

# 平成 27 年度省エネ政策提案型パブリックディベートコンテスト

## 大会出場募集

地球温暖化と省エネルギー～「みんなで止めよう！地球の発熱」

深刻な問題となっている地球温暖化。人類が繁栄した結果、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスが増え、地球の温度が年々上昇しています。世界各地では、この地球温暖化によって様々な影響が現れ始めて、異常気象が各地で報告されています。

こうした中、地球温暖化の問題が国際的に議論されはじめたのは、1992 年です。この年、大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させることを究極の目標とする「国連気候変動枠組条約」が採択され、世界は地球温暖化対策に世界全体で取り組んでいくことに合意しました。この条約に基づき、国連気候変動枠組条約締約国会議（COP）が 1995 年から毎年開催されています。

1997 年 12 月、我が国で開催された第 3 回締約国会議（COP3、京都会議）においては、2000 年以降の取り組みについての規定が不十分であるとして、法的拘束力のある数値目標を定める京都議定書が採択されました。我が国は、これまで京都議定書に基づき、地球温暖化の原因となる CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出削減に積極的に取り組んできました。

こうした取り組みもあり、減少傾向にあった温室効果ガスですが、2010 年の震災以降、原子力発電代替の火力発電の焚き増しもあり、増加傾向に転じました。温室効果ガスの排出量を部門別にみるとエネルギー起源によるものが多く、我が国においてはその傾向が、特に顕著なためです。

こうした状況の変化に対応するため、再度、地球温暖化問題を見つめ直し、新たな政策提案を行うディベート大会を開催します。

大会名 平成 27 年度 エネルギー・環境政策提案型 パブリック・ディベートコンテスト

日時 平成 28 年 1 月 10 日（日） 10：30～16：30

場所 福岡工業大学

主催 九州経済産業局 日本パブリック・ディベート協会 全国教室ディベート連盟九州支部

協力 福岡工業大学 九州大学 福岡女子大学 西南学院大学ほか（予定）

後援 九州各県・福岡市・北九州市・熊本市教育委員会、朝日新聞社、産経新聞社、西日本新聞社、日本経済新聞社西部支社、毎日新聞社、読売新聞社

概要 2 チームでそれぞれ提案を出し合い、議論を深め合う。議論を通して、いずれが聴衆に多くの示唆を与えることができたかを評価する。（日本パブリック・ディベート協会ルール）  
中学校、高等学校それぞれ、優勝 1 チーム、準優勝 1 チームを表彰する。

日程 10:30～10:40 開会式 10:50～11:55 中学予選 I・高校予選 I 11:55～12:40 昼食  
12:40～13:45 高校予選 II・中学予選 II 14:00～14:15 高校予選結果発表・決勝戦準備  
14:15～15:00 決勝戦(高校の部のみ実施) 15:00～15:15 決勝戦投票  
15:15～16:00 エネルギー・環境基礎講座 16:00～16:30 決勝解説／結果発表

出場 中学校・高校 計 12 校（申し込み順・中学・高校／地域のバランスで出場校は主催調整）

申し込み・問い合わせは、加地 [kaji1113@ret.bbiq.jp](mailto:kaji1113@ret.bbiq.jp) まで